

D622

取扱説明書

オートワイヤレスチャージホルダー 吸盤

この度は弊社製品をお買い求めいただきましてありがとうございます。
ご使用前に本書(取扱説明書)をよく読み、製品を安全にお使いください。
※この取扱説明書については、予告なしに変更することがあります。
※製品改良のため、予告なく外観または仕様の一部を変更することがあります。

はじめに

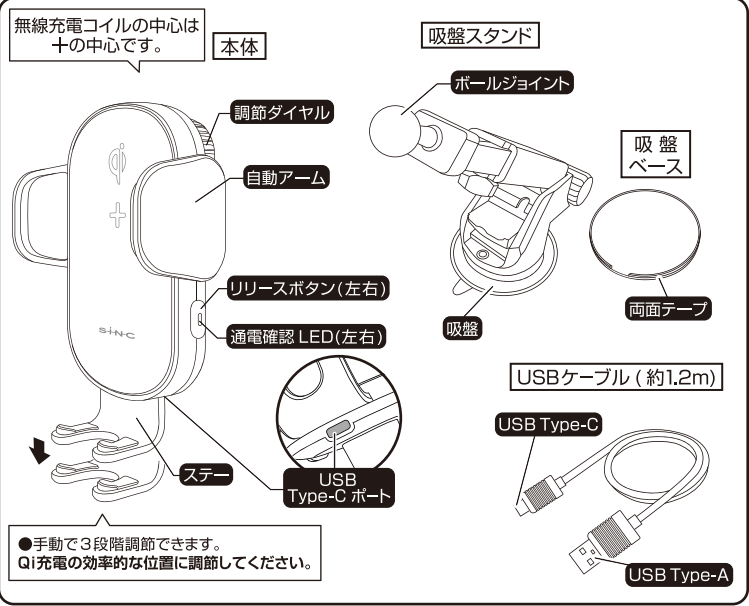
安全にご使用いただくために

- 本製品をご使用いただく際は、走行前に予め本体がしっかりとお車に取り付けられているかをご確認の上、お使い願います。
- 以下の警告・注意をお読みの上、正しくご使用ください。警告・注意に従わない場合など、誤ったご使用をされた際の事故、故障、破損などにつきましては、接続する充電機器も含めて当社では一切その責任、保証は負いかねます。

開封と内容物の確認

■開封後、表面の「セット内容」を参考に内容物の確認をお願いします。

セット内容 本製品の構成と名称、部品のはたらき



1 安全上の注意

警告 この表示は、取扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

注意 この表示は、取扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物の損害のみの発生が想定される」内容です。

右の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。	禁止 (してはいけないこと) を示します。	強制指示 (必ず実行していただくこと) を示します。
------------------------------	-----------------------	----------------------------

警告 本製品の取り付けには十分注意してください。

取り付け、ご使用が困難な時、または、運転操作、視界の妨げ、エアバック付近、エアバック作動の妨げになる場合は無理に取り付けたりしないでください。事故や故障、破損の原因になります。

窓ガラス面には全て、取り付けしないでください。
法令に違反します。

USBケーブルのプラグ部をアクセサリソケットの中に入れてください。
感電や発火のおそれがあります。

火の中に投下したり、高温(70℃以上)の環境下に保管、放置しないでください。
お車のダッシュボード上やグローブボックス内は直射日光の下では70℃以上の高温となりますので、ダッシュボード上及びグローブボックス内への保管等はやめてください。万が一高熱になった場合や発煙、ショートがあった場合には、ただちにご使用を中止してください。

濡らさないでください。また、濡れた手でさわらないでください。
本製品は非防水です。濡らしたり、雨、雪、霧などの状況下に屋外で使用しないでください。水などが内部に入ると、火災、発熱、感電、故障、けがなどの原因となります。

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、強いショックを与えないでください。
破裂、発火、発熱させる原因となります。

分解、改造、後加工をしないでください。
火災、感電、故障、けがなどの原因となります。これらが起因する携帯電話のトラブルに関して、当社は責任を負いかねます。また、コードを分解・切断しての直接配線などは絶対にやめてください。

走行中の運転者による本体の操作は絶対に行なってください。
運転者による携帯電話の操作は事故などの原因となります。また、本製品の操作、取扱いも運転操作の妨げになりますのでやめてください。接続操作などは、お車を安全な場所に駐車しておこなってください。

コードを傷つけたり、きつく結んだり、乱暴に扱わないでください。
感電、発火、発熱、故障、断線、けがの原因となります。

お取り付けの際は、付属の「吸盤ベース」を必ず使用してください。
携帯電話及び、本製品の破損や脱落の原因となります。

注意

ご使用前に、必ず携帯電話のメモリの控えを取ってください。
本製品の使用による携帯電話内部及び接続されたメモリのデータ破損や消失に関する責任は負いかねます。

極端な低温(-20℃以下)での保管、放置はやめてください。
製品の故障や、性能を損ねるおそれがあります。

本製品に物をかけたりしないでください。
製品の故障や、性能を損ねるおそれがあります。

クリーニングするときに研磨剤入りの溶剤は使用しないでください。
本製品に傷がつくおそれがあります。汚れた際は乾いた布で拭いてください。

破損した時には、お車のヒューズボックスにあるすべてのヒューズに破損がないかを確認してください。
車の機能(ヘッドライト、空冷ファンなど)に支障がないことを確認してください。

ホルダーの調節後はしっかりとダイヤルを締め付けてください。
加減速時などに本製品が倒れたりして、携帯電話やお車の内装、本製品の破損の原因となります。

本体のLED光源を直視しないでください。
目の健康をそこねるおそれがあります。

エンジンをかけた状態で使用してください。
車のバッテリー保護や本体ならびに接続機器内部の電子回路に影響を及ぼす可能性があるため、必ずエンジンがかけた状態で使用してください。

悪路を走行する場合は携帯電話を置かないでください。
携帯電話が落下するおそれがあります。

無線充電に関するご注意

- 環境温度や携帯電話の仕様により、満充電付近において、満充電完了前に充電が停止する場合があります。
- 充電完了前に充電が停止した場合は、充電をすぐに再開しない場合があります。
- 一定以上の温度になると、充電機能が停止したり、充電時間が長くなったりする場合がありますが、異常ではありません。温度が低下するまでお待ちください。
- 無線充電中は、携帯電話のバイブレーター機能をOFFにし、動かさないでください。携帯電話が振動により動き、充電完了できなかったり、落下したりするおそれがあります。
- 製品本体には付属のUSBケーブルのご使用を推奨致します。
- 充電する機器以外の無線充電機器どうしを30cm以内で近づけないでください。充電する機器を正しく検出できず、充電できない場合があります。
- テレビやラジオなどに雑音が入る場合は、テレビやラジオなどからなるべく離れた場所でご使用ください。また、ワンセグなどの受信状態が悪くなる場合があります。
- 無線充電時に携帯電話のアプリケーションなどが作動すると、充電完了しない場合があります。
- 無線充電中は携帯電話の電池が温くなる場合がありますが、異常ではありません。
- 充電完了後でも、長時間放置している場合は、電池残量が減少している場合があります。

本製品に関するお問い合わせは (トラブルシューティングで解決できないとき)

本製品に関するお問い合わせは…

☎ 0570 (039) 710

受付時間/AM10:00~PM5:30月曜日~金曜日(祝日休業)

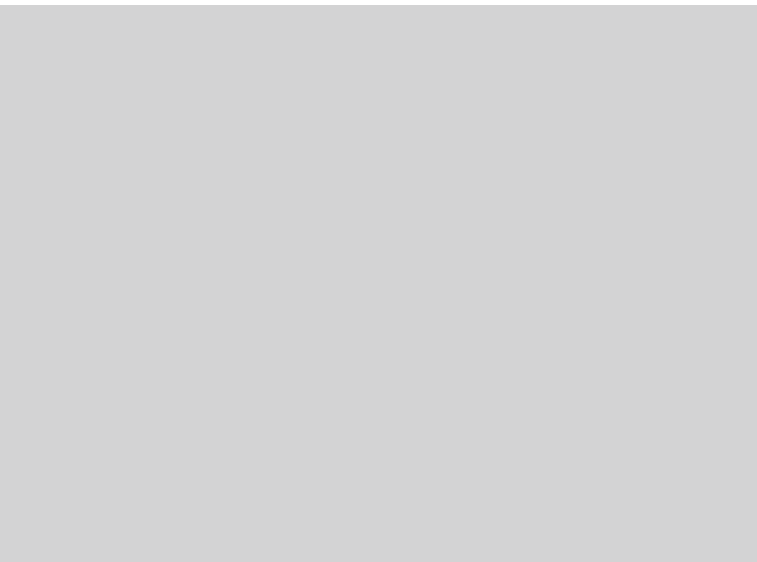
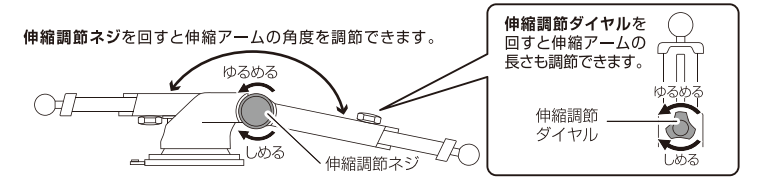
〒273-0016 千葉県船橋市潮見町6-1

2 本製品取り付け・取り外し方法

取り付けに関するご注意

- 必ず車を安全な場所に停車してから、本製品の取り付けを行ってください。
- 吸盤は何度も取り付け・取り外しが可能ですが、「吸盤ベース」は貼り直しができません。
- 本製品「吸盤ベース」の取り付け面は、曲面でない直径約8cmの貼り付け面が必要です。
- 吸盤ベースの貼り直しは、脱落の原因となりますので絶対にやめください。
- あらかじめ「吸盤ベース」取り付け場所の光沢材、汚れ、ゴミ等を中性洗剤等を用いてよく拭き取ってください。
- 10℃以下の低温時には十分な接着力が得られない場合がありますので、低温時を避けてお取り付けください。また、真夏の炎天下等取り付け場所が高温になっている場合も接着力が得られない場合があります。
- 運転操作の妨げやエアバック作動時に影響がないように取り付けてください。本製品の取り付け、ご使用が困難な場合は無理に取り付けしないでください。
- 本体や吸盤で角度を調節し、設置場所の予備検討を予め行ってください。

伸縮アームの調節方法



取り付け位置について

下記及び本製品の「パッケージ記載の取扱説明に従わない場合など、誤ったご使用での事故、故障、破損などにつきましては、当社では一切その責任を負いかねます。

国土交通省の定める「道路運送車両の保安基準」の改正(平成17年1月1日)に伴い、下記の範囲内の前方視界を確保することが義務付けられています。本製品(および携帯電話)を取り付ける際は、下図を参考に、運転者の前方視界を妨げないように取り付けてください。

前方視界基準(抜粋)

※2022年9月調べ

1.対象車種

- 専ら乗用の用に供する自動車(乗車定員11人以上のものを除く。)
- 車両総重量が3.5トン以下の貨物自動車(いずれも使用過程車を含む。)

2.適用時期:平成17年1月1日より

3.基準概要

(1)要件

- 自動車の前方2mにある高さ1m、直径0.3mの円柱(6歳児を模したものを鏡等を用いず直接視認できること。)

(2)適用除外

- Aピラー(窓枠のうち車両最前にあるもの)ファイバー及びステアリングホイールにより死角となる部分。

※いずれの基準も左ハンドルの場合には左右逆となります。

「本体」と「吸盤スタンド」の組み立て

■下図を参考に「ホルダー本体」と「吸盤スタンド」を組み立ててください。

①本体背面の調節ダイヤルを回してゆるめてください。

②カップホルダーのボールジョイント部分を穴に合わせてカチッと音が鳴るまで奥へはめてください。はめたまま、調節ダイヤルが止まるまで回してゆるめてください。

取り付け・取り外し方法

■吸盤を吸盤ベースに固定します。

①吸盤ベース裏面の粘着テープのハクリ紙をはがしてしっかりと貼り付けてください。

※貼り付け後は十分な接着力を得るために24時間放置してから本体の取り付けを行ってください。

②吸盤裏側の保護フィルムを剥がしてください。

③貼り付けた吸盤ベースの上に吸盤をツマミとカットスペースを合わせて吸着させてください。

※吸盤ベースの貼り付け直後に吸盤を吸着させないでください。吸盤ベースが剥がれるおそれがあります。

④片手で吸盤をしっかり押さえて、ダッシュボード面に対して下に押し付けながら、もう片方の指でレバーを押し下げて、ロックしてください。

⑤本体を軽く前後・左右に力を加えてしっかりと固定されているかをご確認ください。

⑥取り外す際は吸盤スタンドのレバーを上を持ち上げてロックを解除してください。吸盤と貼り付け場所が吸着していますので、吸盤のツマミ部分を手で持ちながら取り外してください。

※レバーは勢いよく跳ね上がりますのでご注意ください。

3 ご使用方法

ホルダー本体と付属のUSBケーブルを接続する

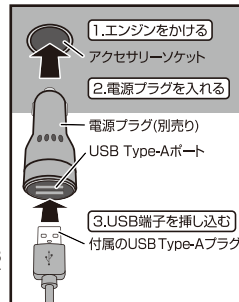
USB Type-Aプラグの接続

●最初にエンジンOFFの状態でお車のアクセサリソケット内のゴミ、ホコリ等をよく取り除いてください。

※汚れたまま電源プラグを挿し込むと接触不良の原因になります。

●本体の電子回路に影響を及ぼす可能性があるため、お車のエンジンをかけてから付属のUSB Type-Aプラグを挿し込んでください。

※USB Type-Aプラグの根元を持ちUSBポートにに対し水平にゆっくり抜き挿ししてください。



急速充電したいとき

●9V/2A以上の電源プラグをご使用で最大15Wの出力となります。

■QC2.0以上9V/2A以上のUSB Type-Aポート付き充電器

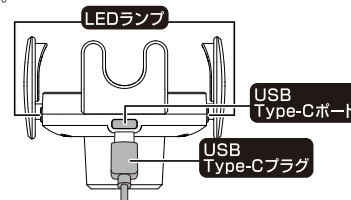
※別途 Qualcomm QuickCharge Ver.2.0 対応の電源プラグのご購入が必要です。

USB Type-Cプラグの接続

●本体のUSB Type-Cポートに、付属のケーブルのUSB Type-Cプラグを接続してください。

※プラグを接続すると左右のLEDランプが点滅します。

- 起動時は青、緑、水色に各1回点滅します。
- 通電時は緑色に常時点灯します。
- 充電時は青色に常時点灯します。
- エラー時は青色と緑色に6回交互に点滅後消灯します。



※携帯電話が正しく置かれていない、携帯電話以外の金属物が接している場合(異物検知)エラー反応します。

※付属のUSBケーブル以外での動作保証はいたしません。

取り付けイメージ

☑ USBケーブルのUSB Type-AプラグがUSBポートに接続されている

※別途電源プラグ(別売り)が必要です。

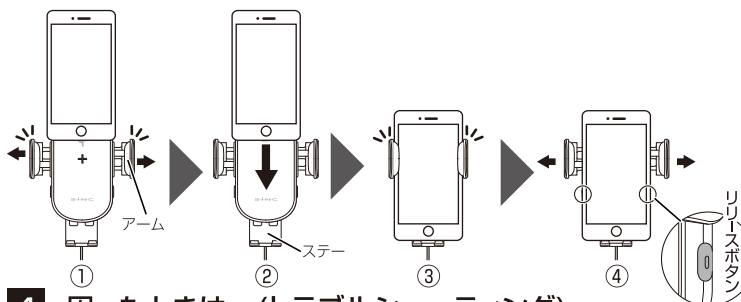
☑ USBケーブルのUSB Type-Cプラグが本体に奥まで接続されている

☑ 左右側面のLEDランプが緑色に点灯している

☑ 吸盤が取り付け位置にしっかりと固定されている

携帯電話の置き方・取り外し方

- ①通電後、左右のアームが自動で開きます。
 - ※携帯電話が置かれている場合、自動で開きません。
 - ②携帯電話をステーに載せます。
 - ③コイルセンサーが反応して左右のアームが自動で閉じ、無線充電を開始します。
 - ※反応が悪い場合はステーを調整して、携帯電話のコイルの位置が本体の+に来るようにしてください。
 - ④携帯電話を取り外す際は、両サイドにあるリリースボタンのどちらかを指で触れるとアームが開きます。もう一度押すとアームが閉じます。
- ※エンジンを切ってから約30分以内は、蓄電用キャパタによってアームが約3回開閉できます。



4 困ったときは…(トラブルシューティング)

●故障かな?と思ったときは、お問い合わせいただく前に、本取扱説明書をもう一度お読みになり、操作に誤りがないかお確かめください。また、次の項目をご確認ください。

症状や疑問点	確認していただくこと
本体LEDランプが緑色に点灯しない	車のエンジンがかかっているか確認してください。アクセサリソケットやUSB Type-Aポートに電気が来ているか確認してください。 USB Type-AプラグやUSB Type-Cプラグがしっかりと接続されているか確認してください。 ケーブルが破損していないか、通電しているか確認してください。
携帯電話を載せてもアームが動かない	携帯電話が、無線充電対応か確認してください。 携帯電話の取り付け位置がずれていないか確認してください。 ご使用した環境の温度が高すぎる、または低すぎるか確認してください。 リリースボタンをタッチしてアームが開いているか確認してください。 LEDランプが緑色に点灯しているか確認してください。
リリースボタンを指で触れてもアームが開かない	通電しているか確認してください。 ※エンジンを切ってから約30分が過ぎ、USBケーブルを介して本体に電力が供給されていないときはアームは開閉動作しません。
充電されない	LEDランプの色を確認してください。 電源プラグ(別売り)の仕様が5V/2A以上か確認してください。 アプリの消費電力が充電の電力より多いと充電されません。 携帯電話が無線充電に対応しているか確認してください。 携帯電話のコイル位置に合わせてステーを調節してください。